

# バルコニー屋根

## 躯体式バルコニー対応（柱部）

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組立て、施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 本説明書は、「バルコニー屋根 躯体式バルコニー対応（柱部）」の組立て、施工について説明しています。本体の組立て、施工については、本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。

### 本書内の表記

- 商品の組立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組立て、施工を行ってください。

### 警告／注意／お願い

| 表記        | 意味  |
|-----------|---|
| <b>注意</b> | 取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度 |

### その他の表記

| 表記           | 意味                          |
|--------------|-----------------------------|
| <b>注意</b>    | 作業上の注意していただきたい内容を示しています。    |
| <b>シーリング</b> | 必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。 |

### 安全にお取扱いいただくために

#### 注意

- 本商品の組立て、取付けは、所定のボルト・ねじを使用し最後まで確実に締付けてください。締付け不良は漏水や事故につながるおそれがあります。
- 取付けは、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず取付けてください。商品の破損や部材の脱落につながるおそれがあります。
- コーチねじの取付けは所定の下穴を必ずあけてください。
- 経年劣化などで構造材が損傷している場合は、お施主様と打合せをし、復旧、補強工事を行ってから商品を取付けてください。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水につながるおそれがあります。
- アルミ部材は鉄などの異種金属との接触で腐食が進行します。必要に応じて塗料、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。



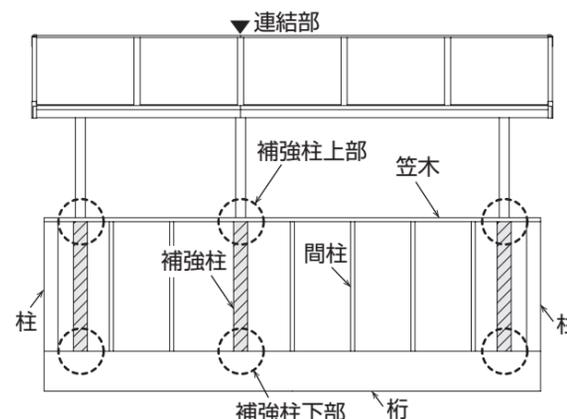
- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。

### 商品仕様

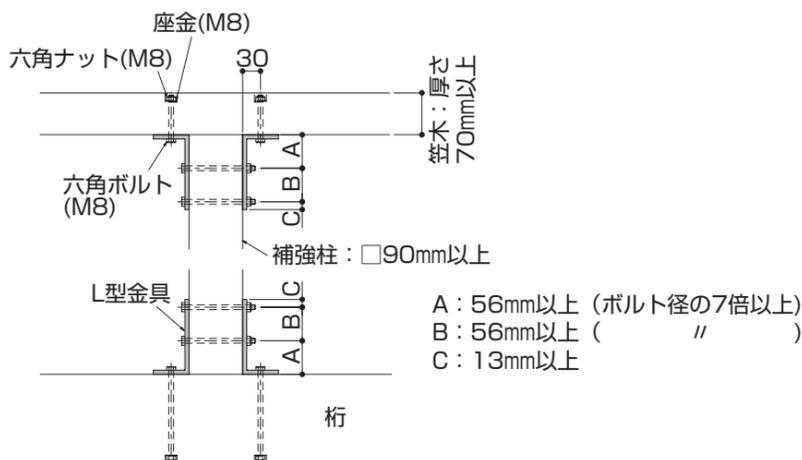
| 姿 図   | コーナー用   | 中間用  |
|-------|---------|------|
|       |         |      |
| 施工方法  | 後付施工    | 後付施工 |
| 躯体補強  | 不要      | 必要   |
| 笠木の種類 | フラットタイプ | ○    |
|       | 傾斜タイプ   | ○    |

### 躯体補強について

- 躯体補強（商品仕様参照）が必要な場合、以下を参考に建築業者様と事前に打合わせを行ってください。



- 外壁仕上げの前にバルコニー屋根の柱位置を決め真下に □90mm以上の補強柱（木）厚さ70mm以上の笠木（木）を現地にて取付けてください。
- 風による吹上げ荷重がかかるおそれがあります。以下を参考に補強柱を強固に連結してください。



| 部 品       | 仕 様                        |
|-----------|----------------------------|
| L型金具      | 鋼製 厚さ7mm以上 幅85mm以上         |
| 六角ボルト(M8) | ねじ山が2山以上ナットから突き出していること     |
| 六角ナット(M8) | -                          |
| 丸座金(M8)   | 厚さ4.5mm以上                  |
| 角座金(M8)   | 丸座金直径45mm以上<br>角座金一辺40mm以上 |

- 上記の例以外に、「羽子板ボルト」などの建築金物で固定することも可能です。ただし、鉛直上向きの短期荷重7.5(kN)に耐える強度にしてください。

# 柱長さの算出

(柱長さ) = (Hmax : 垂木掛け取付面高さ ※1) - A - C - 58... (式1)

※1 : (垂木掛け取付面高さ)は現地にて測定

1. Hmax、bを測定してください。

Hmax : 垂木掛け取付面高さ

Hmax = ( ) mm

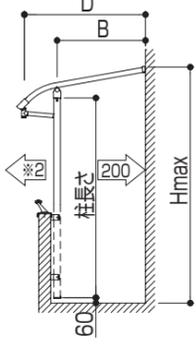
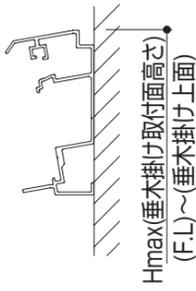
b : 柱標準位置 (B) からの  
柱移動距離

b = ( ) mm

2. A寸法を下表より選んでください。

A = ( ) mm

| 屋根形状                  | 呼称奥行  | D    | B (標準) | ※2  | A     |
|-----------------------|-------|------|--------|-----|-------|
| 600 N/m <sup>2</sup>  | フラット型 | 3R   | 870    | 180 | 276.9 |
|                       |       | 4R   | 1170   |     | 329.8 |
|                       |       | 5R   | 1470   |     | 382.7 |
|                       |       | 6R   | 1770   |     | 435.6 |
|                       | アール型  | 3R   | 870    | 170 | 280.1 |
|                       |       | 4R   | 1170   |     | 333.0 |
|                       |       | 5R   | 1470   |     | 385.9 |
| 1500 N/m <sup>2</sup> | フラット型 | 3R   | 870    | 170 | 314.9 |
|                       |       | 4R   | 1170   |     | 367.8 |
|                       |       | 5R   | 1470   |     | 420.7 |
|                       |       | 6R   | 1770   |     | 473.6 |
|                       | アール型  | 3R   | 870    | 140 | 318.1 |
|                       |       | 4R   | 1170   |     | 371.0 |
|                       |       | 5R   | 1470   |     | 423.9 |
|                       | 6R    | 1770 | 476.8  |     |       |
|                       | 7R    | 2070 | 529.7  |     |       |



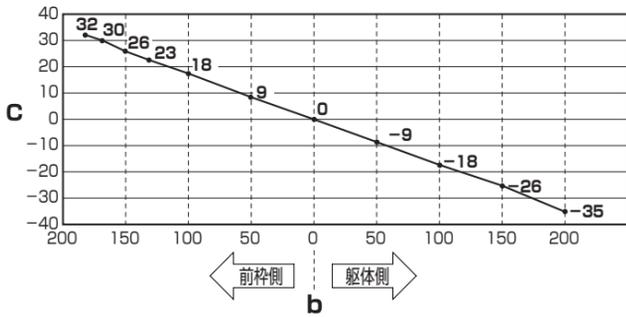
(単位 : mm)

3. 手順1で測定したbをグラフに

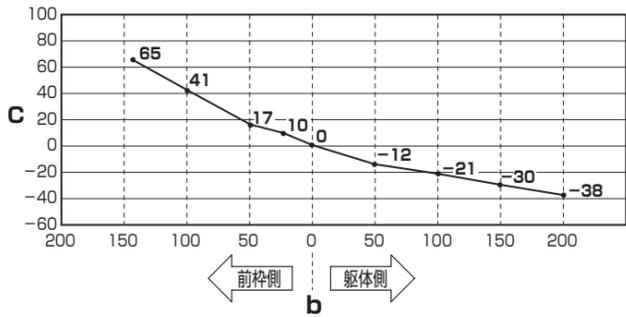
あてはめ、Cを求めてください。 C = ( ) mm

この表は、標準柱移動距離を300mmに設定しています。

## 《フラット型》



## 《アール型》



(単位 : mm)

# 柱の加工



柱ブラケットを防水立上がり高さに取付けないでください。

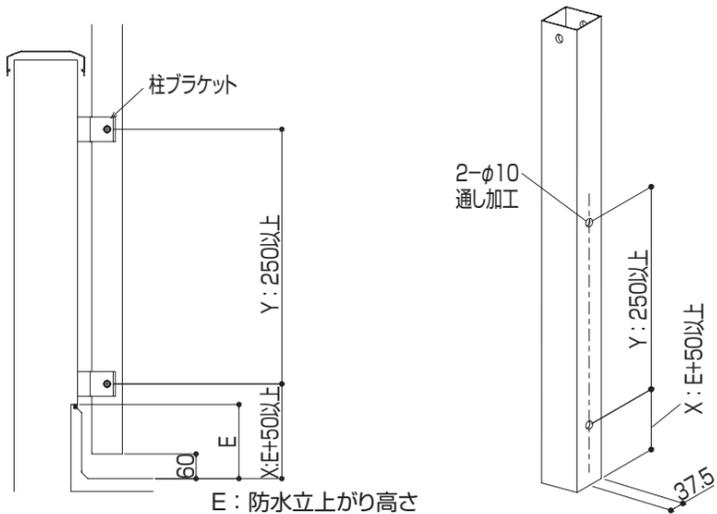
1. X、Y寸法を測定し、通し穴(φ10)を柱にあけてください。



柱の向きに注意してください。

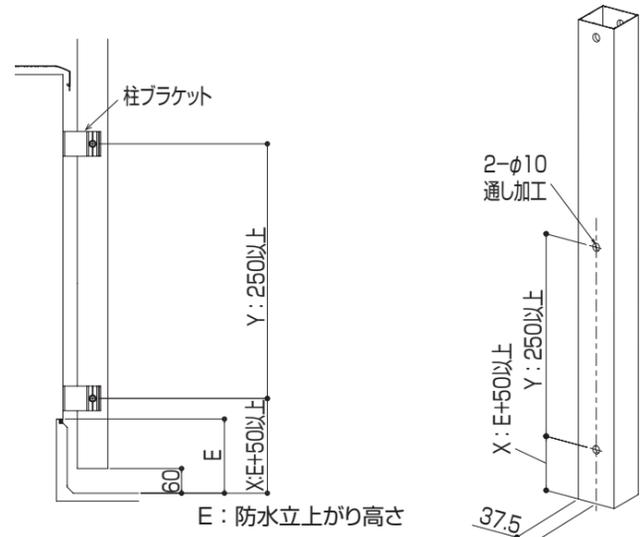
排水口カバーがある場合、カバーを外せる寸法に柱を切詰めてください。

## 《コーナー部》



(単位 : mm)

## 《中間部》



(単位 : mm)

# 柱ブラケットの取付

## コーナー部

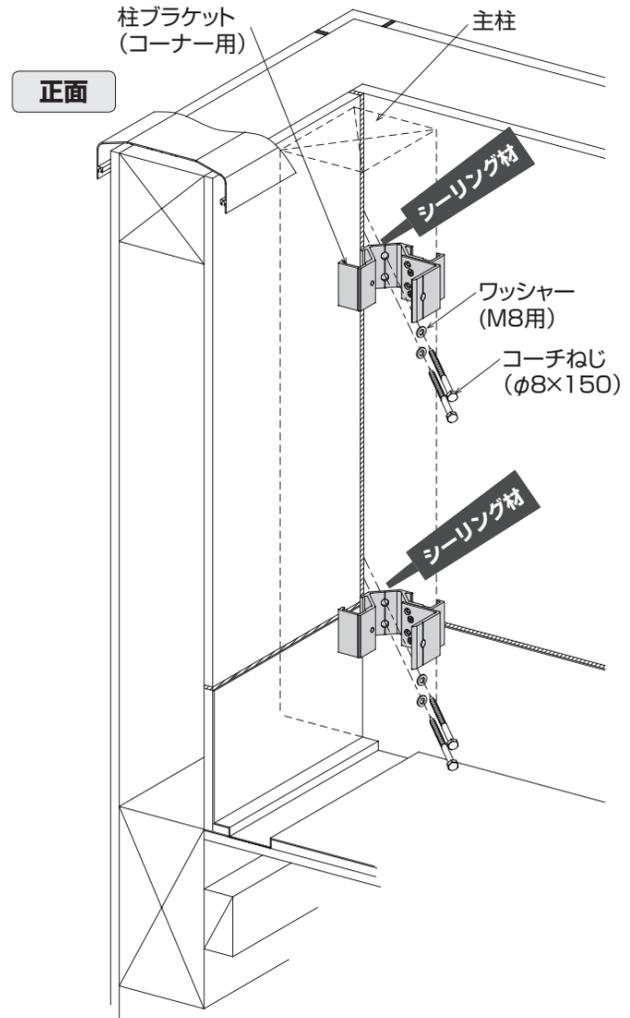
1. 主柱に下穴(φ6.5)をあけてください。

2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。

### 注意

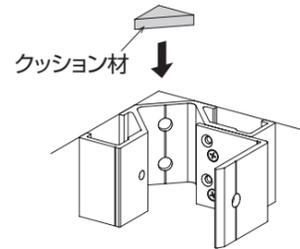
- コーチねじの下穴およびコーチねじのまわりのシーリングは確実に行ってください。躯体に雨水が浸入するおそれがあります。

3. 柱ブラケットを主柱に取付けてください。

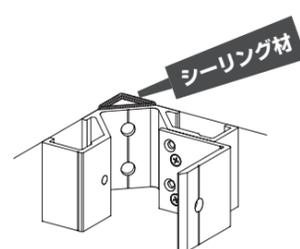


(単位 : mm)

4. クッション材を柱ブラケットに上から差込んでください。



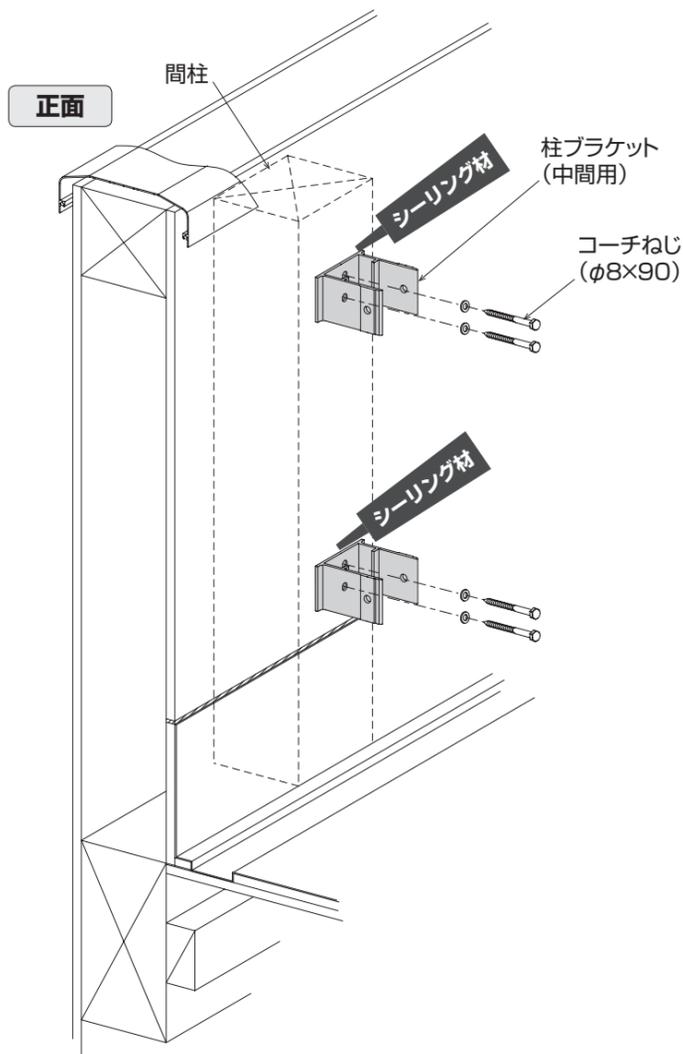
5. クッション材にシーリングを充てんしてください。



## 柱ブラケットの取付 (つづき)

### 中間部

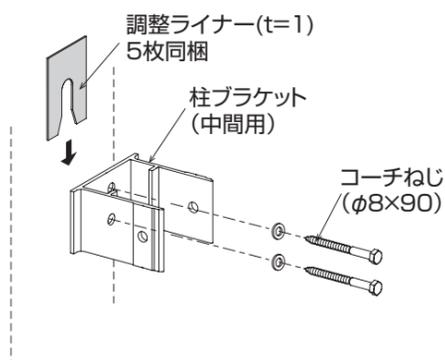
1. 間柱に下穴(φ6.5)をあけてください。
2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
3. 柱ブラケットを間柱に取付けてください。



(単位: mm)

### 取付け面が傾いている場合

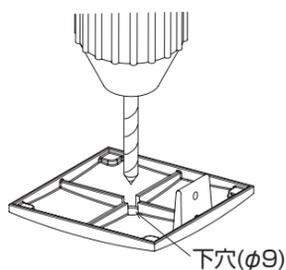
1. 柱ブラケットと取付け面の間に調整ライナーを差込んでください。
2. 柱が垂直になるように、上下の柱ブラケットの位置を調整してください。



(単位: mm)

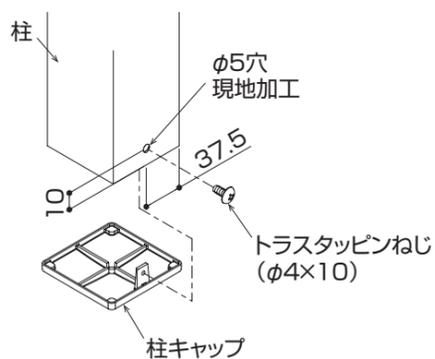
## 柱の部品付

1. 下側の柱キャップの中心に下穴(φ9)をあけてください。



(単位: mm)

2. 柱キャップを柱に取付けてください。

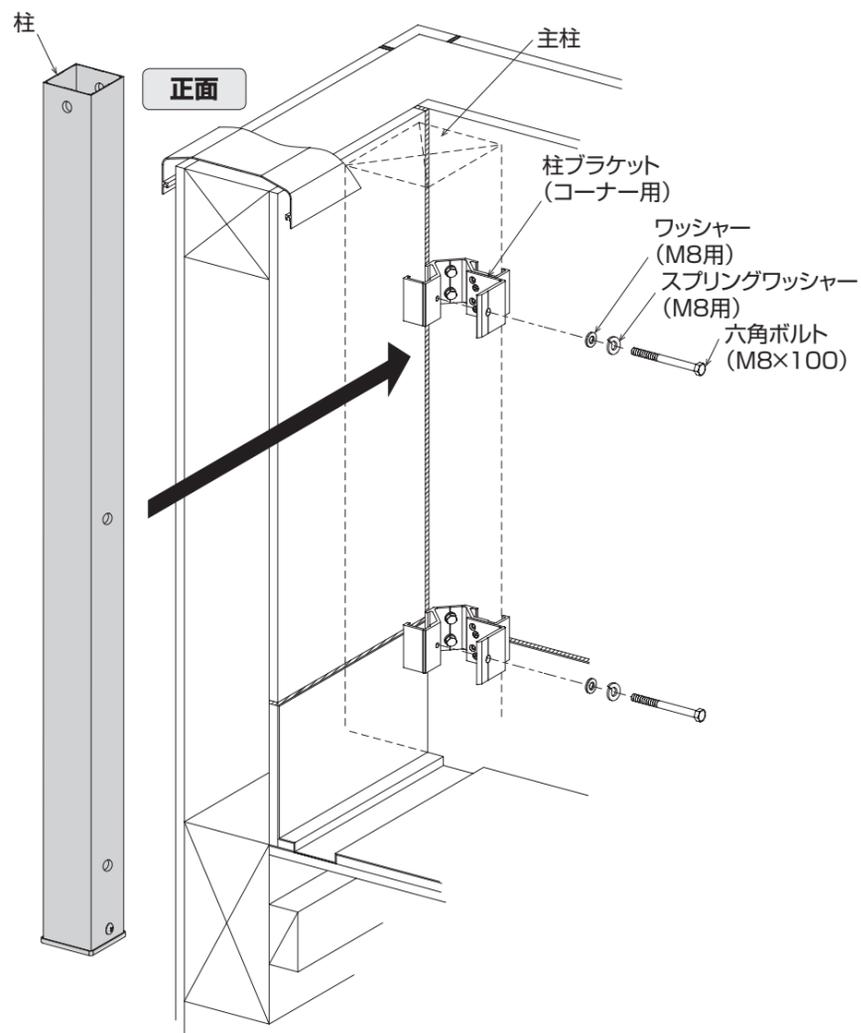


(単位: mm)

## 柱の取付

### コーナー部

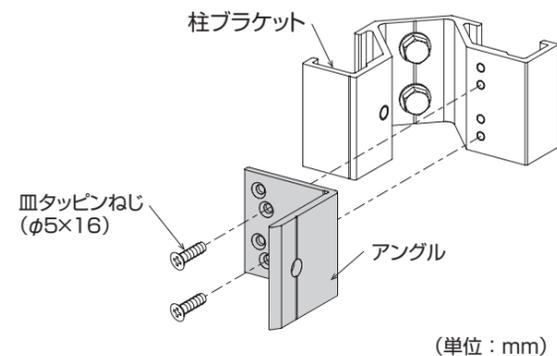
1. 柱を柱ブラケットに取付けてください。



(単位: mm)

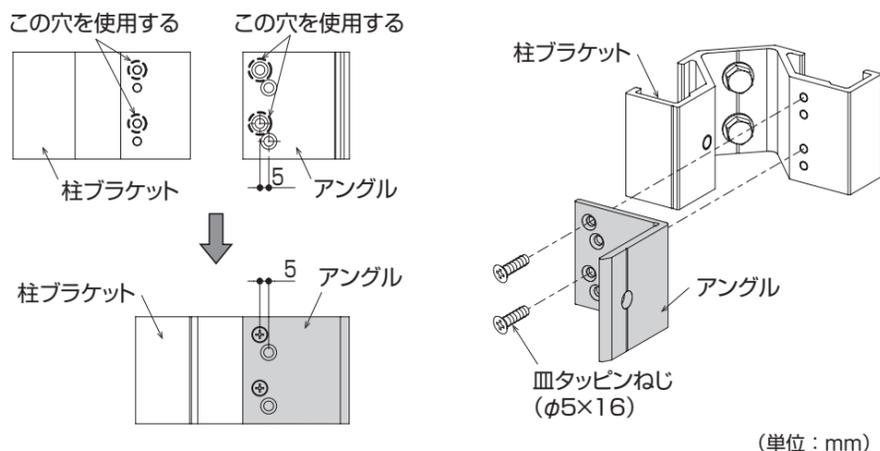
### 取付け面が傾いている場合

1. 柱ブラケットに取付いているアングルを取外してください。



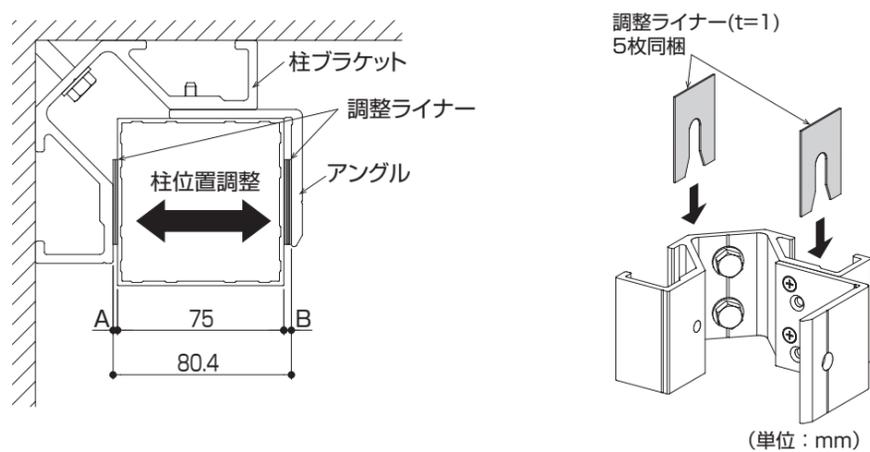
(単位: mm)

2. 柱ブラケットの上の穴にアングルを取付けてください。



(単位: mm)

3. 柱が垂直になるように、柱ブラケットと柱面の間に調整ライナーを差込んで調整してください。

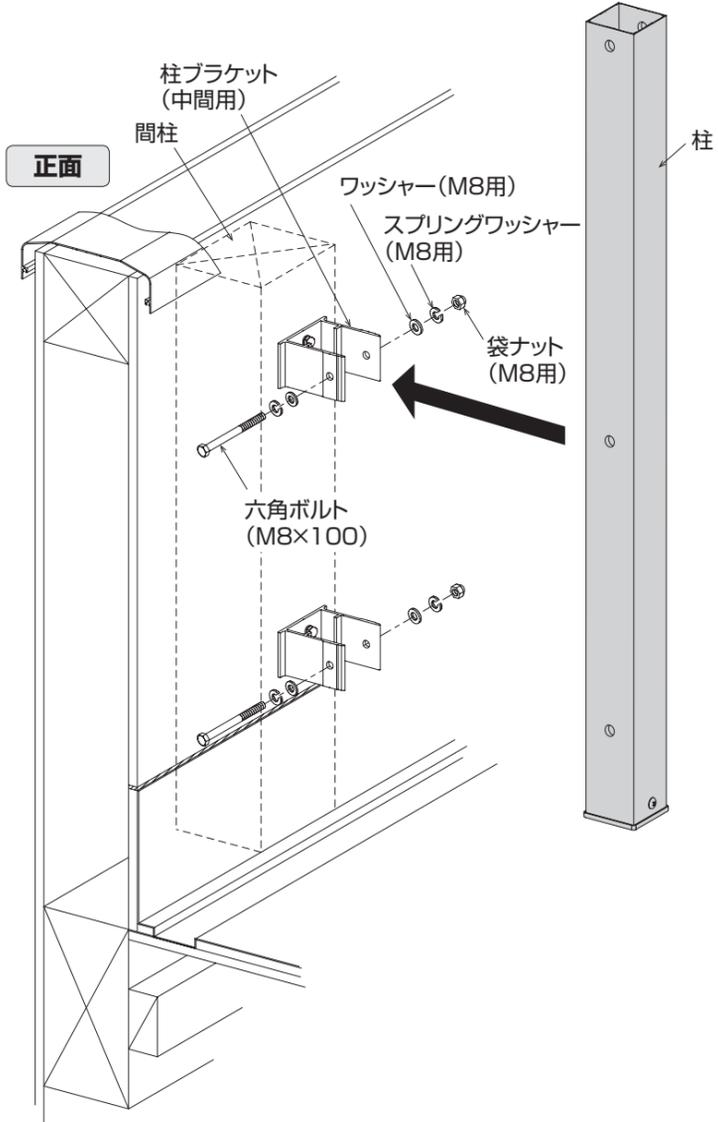


(単位: mm)

|                |   |   |   |   |   |   |
|----------------|---|---|---|---|---|---|
| 調整ライナー<br>使用枚数 | A | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|                | B | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

## 中間部

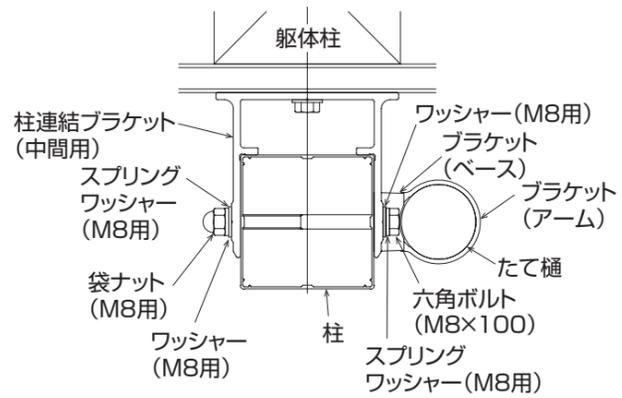
1. 柱を柱ブラケットに取付けてください。



(単位: mm)



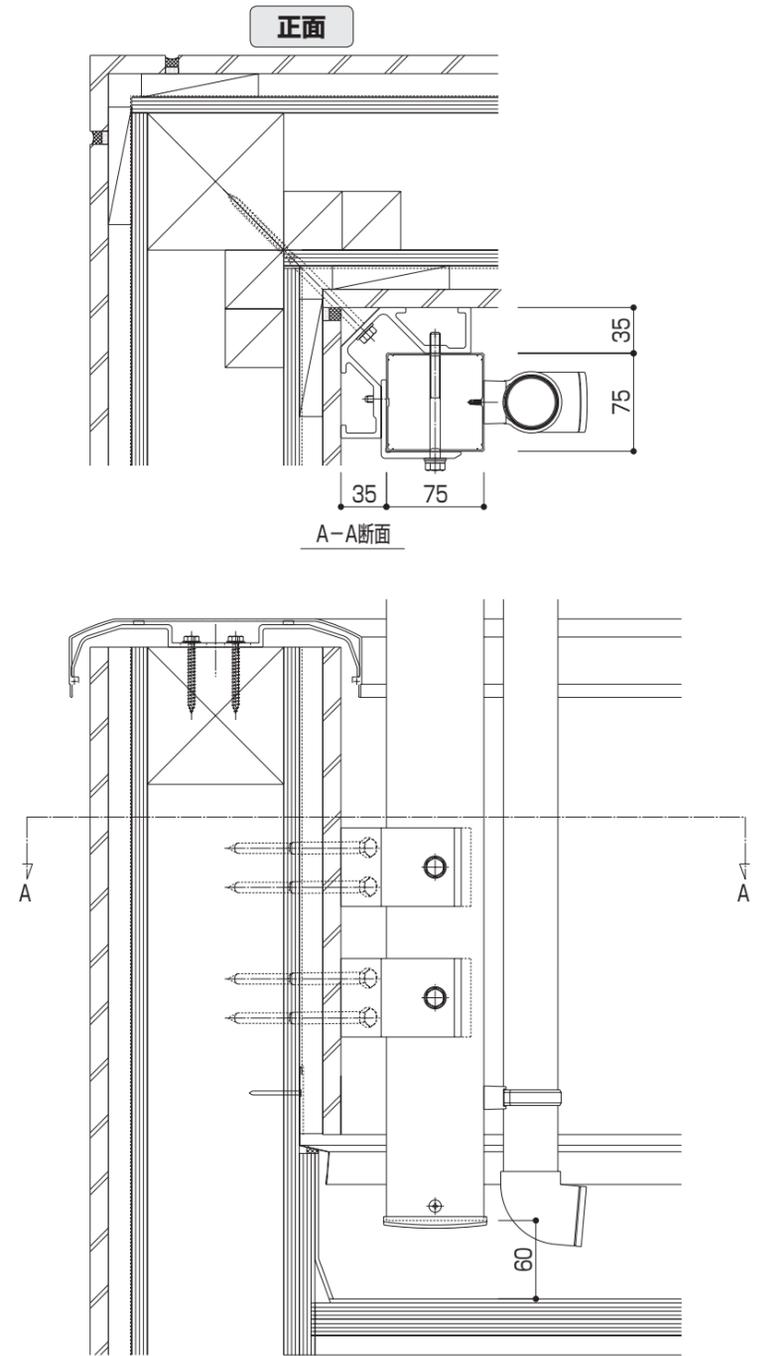
- たて樋を取付ける場合は、たて樋側から六角ボルトを差込んでください。たて樋側に袋ナットを取付けると、たて樋と袋ナットが干渉します。



(単位: mm)

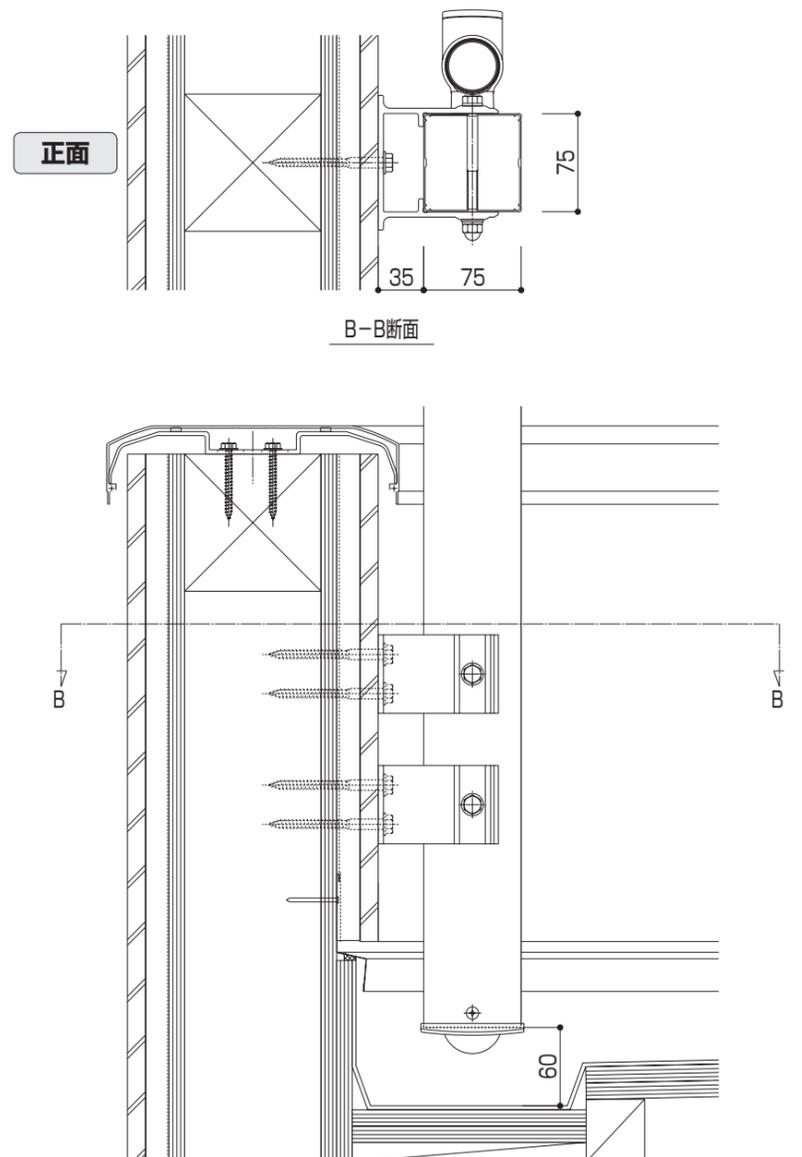
## 商品断面図

### コーナー部



(単位: mm)

### 中間部



(単位: mm)